

ちむ美らさ

第107号

発行: 北部農林水産振興センター
農業改良普及課

住所: 沖縄県名護市大南1-13-11

電話: 0980-52-2752

FAX: 0980-51-1013



台風シーズン到来!

近年、度重なる台風によりマンゴーでも多くの被害を受けています。
万全な対策で被害を最小限に止めましょう!

- 目次 -

- 1P・果樹の台風対策
- 2P・野菜・花卉の台風対策
- 3P・さとうきびかん水
熱中症対策
- 4P・伊平屋村の農業

◆マンゴーの台風被害

①落葉、枝枯れ、樹勢の低下、塩害など

成木



幼木



※台風後の散水による除塩が重要です。
6時間以内が効果的!

②かいよう病

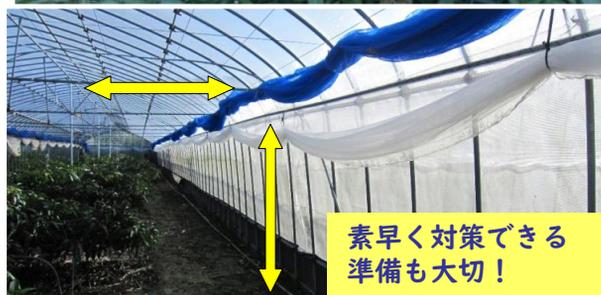
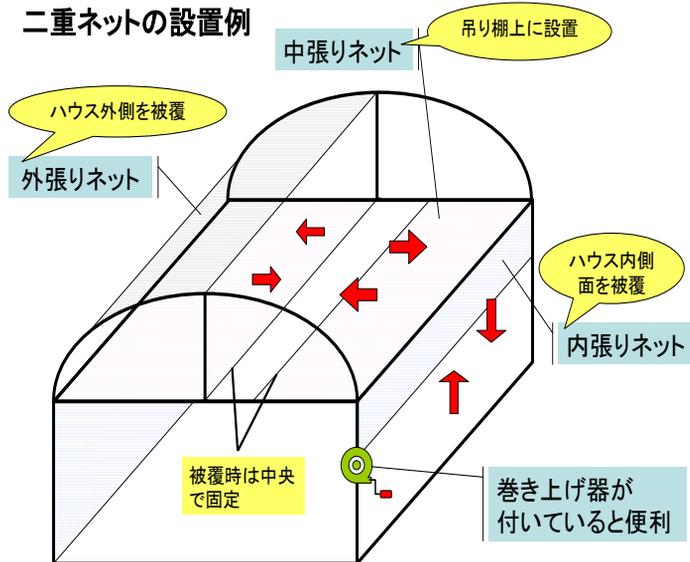


葉や果実、枝幹を侵す病気。
葉: コルタルのように盛り上がり、角張った黒斑が出る。
枝、幹: 亀裂からヤニが出る。
果実: 黒斑に裂け目が出る。

※台風前のICボルト®-66Dの
予防散布が重要です!!

◆施設の台風対策 ～二重ネットの設置～

二重ネットの設置例



素早く対策できる
準備も大切!

注) 紹介した二重ネットによる台風対策はある程度風に耐えられるハウスの強度が前提で、小型のパイプハウス等では補強が必要です。
補強例) ★足場パイプで3mおきのアーチに追加補強 ★3m間隔で中央に支柱を立てる ★前後の妻面と支柱をクランプで接続。
※ネット設置により、風速は6割程度に抑えられますが、二重ネットにする事で4~3割程度まで抑制することが確認されています。

(『ネットを利用した風環境対策-沖縄県園芸施設保守管理マニュアル(平成25年3月沖縄県農林水産部)』より抜粋)

(担当: 小笠 美由季)

バックナンバーはこちら→ <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/norin-hoku-nokai/timutyurasa.html>
または右上QRコードでご覧になれます。

台風シーズン到来

台風の季節です。

台風情報を、まめにチェックし、早めの対策をとり、被害を最小限に抑えましょう！

野菜の台風対策事例

【事前対策】

●ゴーヤー



- ・つるを下ろし、防風ネットで被覆する
- ・台風通過後は、つるを元に戻す

●オクラ

- ・切り戻し：倒伏防止等のため、台風接近前に約40cmの高さで切る
- ・株の固定：
ひもを使い支柱に株を固定する



●その他

- ・すいか等、地這い栽培を行う野菜は、ネットをじかがけ被覆する
- ・葉野菜は、コの字支柱を使用してネットをうきがけする



【事後対策】

- ・使用したネットを早めに取り除く
- ・茎や葉についた、塩分や土を水で洗い流す
- ・倒れた株は、早めに元に戻し、土寄せを行う
- ・病害予防のため、登録のある殺菌剤を散布する
- ・速効性肥料を葉面散布し草勢回復を図る

(担当:屋良 利次)

キクの台風対策事例

【事前対策】

防風ネットを利用し、風対策を行う。



防風ネットのべたがけ



防風ネットの浮きがけ

【事後対策】

台風通過後には付着した泥や塩分を洗い流す。



付いた泥を洗い流す



台風通過後の除塩かん水

そのほか、停電に備えた準備等も合わせて行いましょう。

(担当:新崎 千江美)



さとうきび栽培 ～積極的なかん水で単収UP～

長い梅雨も明け、これから夏本番を迎えるところですが、さとうきびの生育は梅雨明け後、降水量が少ないと1週間で生育の停滞が始まることが分かっています。**生育旺盛期(6～9月)は最も水を必要とする時期です。適期かん水を心がけ単収を向上させましょう。**

本島南部地域(株出)の調査結果で、かん水により、地域平均より約5.9tの増収が報告されています(図)。

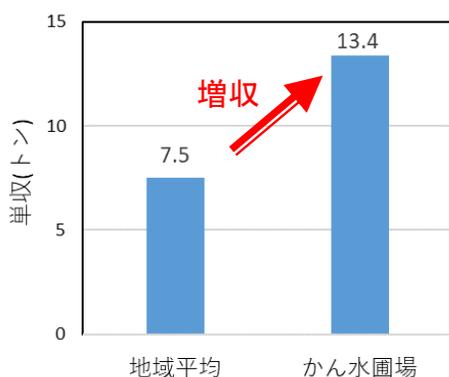


図 かん水の効果

- 生育旺盛期のかん水量は10a当たり35～40t、週に1回行うのが理想です。
- 根群域(根っこ)を増やすことも干ばつ対策につながります。
 - ①植付前の深耕(プラウ、バックホウ)
 - ②心土破碎(プラソイラ、サブソイラ)
 - ③堆肥など有機物資材施用
 - ④高培土をしっかり行う

農作業安全～熱中症対策を心がけましょう～

4月に沖縄本島で熱中症による死亡事故が起きています。梅雨も明け、これからますます気温も上がってきますので、熱中症の予防を心掛けましょう。

～～夏の農作業で心がけること～～

1. 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行いましょう。
2. 作業前・作業中の水分補給、こまめな休憩をとりましょう。
3. 熱中症予防グッズを活用しましょう。
4. 単独作業を避けましょう。
5. 高温多湿の環境を避けましょう。
特にビニールハウス等の施設内では長時間の作業は避けましょう。
6. 適宜マスクをはずしましょう。
屋外やハウスで人と十分な距離(少なくとも2m以上)を確保できる場合にはマスクをはずすようにしましょう。



参考:農林水産省資料

祝 伊平屋村 新製糖工場 初めての操業が終了しました！



伊平屋村では令和3年1月から新設の製糖工場での操業が始まりました。新しい製糖工場では不測のトラブルにより、何度か原料搬入が中断し予定していた製糖期間が延長したものの、令和3年6月7日に製糖終了を迎えることができました。

最終的には生産量 5,288トン、平均糖度 15.5度と昨期 (R1/2年期) に比べ生産量は約1,000トン増、糖度は約1.5度高い結果で**増産を達成しました**。

単収向上が課題

伊平屋村のサトウキビは平成23/24年期からの10年で見ると生産量は増加傾向にあります。しかし、10a当たりの単収で見ると3作型平均で3.3トンと県平均の約60%で低い単収となっています。所得向上のためには単収を上げなければなりません。そこで、

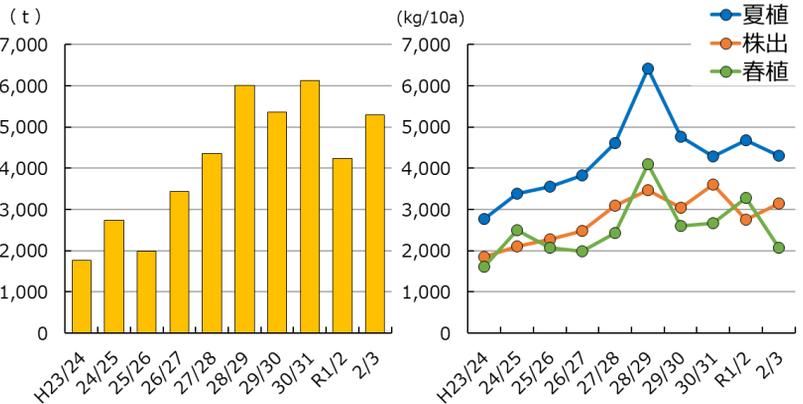


図. 伊平屋村のサトウキビ生産量 (左) と単収 (右) の推移

- ①夏植え面積確保
- ②早期夏植え
- ③積極的かん水
- ④適期害虫防除

を推進し、関係機関が一体となって単収向上に取り組んでいきます。



てるたまキング

(担当：伊平屋村駐在 下地 格)